

この女性に聞く  
**konohitonikiku**

エイコー・コンサルタンツ(株)  
設計部  
課長

西青木 由紀さん

住民と行政を橋渡し



大学で土木を専攻、研究室で長大橋の風洞実験に携わったことから、橋梁に魅力を感じ、橋梁技術者を志す。

初仕事は宮崎県内の生活道路に架かる橋の設計。

「小規模な橋梁でしたが、住民生活に欠かせない橋です。規模では測れない、やりがいがありました」。

当時は長大橋華やかになりし頃だったが、以来、数多くの生活道路の橋梁設計に携わっている。

現在は新設、保全、いずれも業務とする。

「保全業務は丁寧な点検に始まり、材料や施工法についての最新

情報を収集するなど、地道な作業が必要になります」

仕事をする上では、常に相手との意思疎通を重視する。

設計においても顧客が何を望むかを汲み取ることで顧客満足度を高めることができる。

「地元との話し合いも大切、その要望や必要とすることを把握しておけば、場合によっては合意形成の手助けもできます。住民と行政の橋渡しも、これからのコンサルの重要な仕事だと思っています」。

九州工業大学大学院卒。福岡市出身。

(川村淳一)